



2018年10月30日

各位

会社名 株式会社タケエイ
 代表者名 代表取締役社長 山口 仁司
 (コード: 2151 東証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 阿部 光男
 (TEL 03-6361-6871)

当社子会社(富士車輛株)販売の機械式立体駐車場の補修工事に要する費用について

当社は、本年7月30日付で、「当社子会社(富士車輛株)販売の機械式立体駐車場の点検及び補修工事実施について」を、富士車輛株式会社(以下、富士車輛)は補修工事の方法に関し、本年9月27日付で「機械式立体駐車場の不備・不具合に関する点検結果について」を、それぞれ公表いたしました。この度、補修工事に要する費用の見積り金額が確定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

機械式立体駐車場のご利用者、当社の株主ならびに関係者の皆様に、ご迷惑ご心配をお掛けした事を改めて深くお詫び申し上げます。弊社グループでは、今回の事態を真摯に受け止め、関係者の皆様からの信頼回復に向け、誠心誠意努めてまいります。

なお、業績に与える影響につきましては、本日発表の「特別損失の計上及び第2四半期連結業績予想と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

記

1. 点検結果及び補修方法について

点検結果及び補修方法につきましては、大要、以下のとおりです(詳細につきましては、富士車輛において、本年9月27日付にて公表した「機械式立体駐車場の不備・不具合に関する点検結果について」をご参照ください。)。富士車輛が実施した機械式立体駐車場248件の全件検査において、横行レールの支持金物の溶接部に亀裂が発生している物件が20件、この支持金物に亀裂は発生していないものの亀裂が生じたものと同じ構造の物件が70件確認されました。亀裂補修は10月までに、亀裂が生じた物件と同じ構造の物件の横行レールの支持金物の補修と落下防止装置の取付けを2019年3月までに完了する予定です。更に、来年度末までにローラーチェーンを取り換える工事などを実施することで機械式立体駐車場の安全確保に万全を期する予定となっています。

富士車輛の9月27日付リリース「機械式立体駐車場の不備・不具合に関する点検結果について」より抜粋

	2018年					2019年			来年度	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
点検										
溶接部亀裂物件 リブ取付け										
亀裂物件と同構造の 物件 リブ取付け										
落下防止装置取付け										
それ以外の補修			*							

*原則として来年度の施工となりますが、工事を迅速に進めるために上記優先工事と同時進行となる場合があります。

2. 補修工事に要する費用について

補修工事に必要な部材を選定し、その調達に要する費用を含む補修工事費用について見積りを行った結果、下表のとおり、補修工事に要する費用(調査費用を含む)として合計845百万円を見込んでいます。今年度の費用として、調査費用及び緊急を要する横行レールの支持金物の亀裂補修に9百万円、亀裂が生じた物件と同じ構造の物件の横行レールの支持金物の補修に30百万円、パレットの落下防止装置の取付に150百万円を要する予定です。また、来年度以降に予定している吊上げローラーチェーン型式変更他に656百万円の補修費用を見込んでいます。

補修内容等	補修費用
調査費用及び横行レール支持金物の溶接部亀裂物件の補修	9百万円
亀裂物件と同じ構造の横行レール支持金物の倒れ対策	30百万円
パレットの落下防止装置の取付け	150百万円
吊上げローラーチェーン型式変更他	656百万円
合計額	845百万円

補修工事に要する費用合計額845百万円のうち、200百万円につきましては平成31年3月期第1四半期に特別損失として計上しており、残額の645百万円につきましては第2四半期に特別損失として計上いたします。

以上